

FOLFIRINOX 療法

I-LV(レボホリナート)+L-OHP(オキサリプラチン)+CPT-11(イリノテカン)+5-FU

【適応】

治癒切除不能な膵臓がん

【投与スケジュール】

Day1

Day2

5-FU ポーラス
400mg/m²(15分)

制吐剤	I-OHP 85mg/m ² (2時間)	I-LV 200mg/m ² (2時間)	5-FU 持続静注 2400mg/m ² (46時間)
		CPT-11 180mg/m ² (1.5時間)	

2週を1コースとして繰り返す。

適正使用の目安(適正使用ガイドより抜粋)

項目	適正使用	慎重投与	投与禁忌
Performance Status	0~1		2以上
年齢	65歳未満	65歳以上	
好中球	1コース目	2000以上	2000未満
	2コース以降	2000以上	1500~2000未満
血小板	1コース目	10万以上	10万未満
	2コース以降	10万以上	7.5~10万未満
T-Bil/黄疸	施設基準上限(ULN)以下 かつ黄疸を認めない	ULN~ULN×1.5以下 かつ黄疸を認めない	ULN×1.5超 黄疸を認める
下痢(水様便)	認めない		認める
UGT1A1 遺伝子多型 ホモ(UGT 1 A1*6/*6、 UGT1A1*28/*28)又はダ ブルヘテロ(UGT 1 A1*6/*28)接合体	もたない	もつ	

減量基準(参考)

副作用	程度	減量方法			
		CPT-11	L-OHP	5-FU(急速)	5-FU(持続)
好中球減少	1) 2 コース目以降の投与可能条件を満たさず延期 2) 500/mm ³ 未満が 7 日以上持続 3) 感染症又は下痢を併発し、かつ 1000/mm ³ 未満 4) 発熱性好中球減少症	<ul style="list-style-type: none"> ・ CPT-11 を優先的に減量 ・ CPT-11 の投与レベルが L-OHP の投与レベルより低い場合は CPT-11 と同じレベルになるまで L-OHP を減量する ・ 投与レベルが Level-3 に達した場合、該当薬剤は投与を中止する。 		中止	
下痢	発熱(38℃以上)を伴う				
	Grade3 以上				減量
血小板減少	1) 2 コース目以降の投与可能条件を満たさず投与を延期 2) 5 万/mm ³ 未満の場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ L-OHP を優先的に減量 ・ L-OHP の投与レベルが CPT-11 の投与レベルより低い場合は L-OHP と同じレベルになるまで CPT-11 を減量する ・ 投与レベルが Level-3 に達した場合、該当薬剤は投与を中止する。 		中止	
T-Bil 上昇	2. 0mg/dL 超 3. 0mg/dL 以下	減量 120mg/m ²			
	3. 0mg/dL 超	減量 90mg/m ²			
粘膜炎	Grade3 以上				減量
手足症候群					
末梢神経障害	投与当日の程度が Grade2		減量 65mg/m ²		
	投与当日の程度が Grade3		休薬 回復後 65mg/m ² に減量		
	Grade4		中止		

減量時の投与量

投与レベル	CPT-11	L-OHP	5-FU(急速)	5-FU(持続)
Level0(初回)	180mg/m ²	85mg/m ²	400mg/m ²	2400mg/m ²
Level-1	150mg/m ²	65mg/m ²	中止	1800mg/m ²
Level-2	120mg/m ²	50mg/m ²		1200mg/m ²
Level-3	中止	中止		中止

※複数の副作用発現時を除き、全ての薬剤を 1Level 減量しないように注意